

山都町地域公共交通計画推進支援業務

まちなか回遊サービス導入検討

R6年度の検討状況の報告

1. まちなか回遊サービスの位置づけ

1) 山都町地域公共交通計画の記載内容

■本計画の目指す将来像

こどもも高齢者もおでかけできるまち ～みんなの協力で持続可能な交通～

【将来の公共交通体系での活動イメージ】

●「暮らし」を支える公共交通

- ・高齢者のおでかけのしやすさ（地域内・地域間・町外）
- ・小中学生の通学、放課後のおでかけのしやすさ
- ・高校生の通学の利便性（矢部高・町外への広域移動）

●「交流」を支える公共交通

- ・わかりやすく、利用しやすく、巡りやすい観光交通

広域移動

高速バス・特急バス
路線バス

域内移動

路線バス
町内コミュニティ交通
スクールバス
タクシー
まちなか回遊サービス

暮らし

熊本、御船、美里、高森へ買物・通院・通学・通勤できる

矢部・清和・蘇陽の中心部へ気軽にのおでかけできる

小中学生も安全に、移動できる

自動車でもなくとも、外出できる

交流

山都町を訪れやすい

まちを巡ることができる

■山都町地域公共交通の基本方針

基本方針1 高齢者等が自動車でもなくとも外出できる交通サービスの構築

高齢者等が自動車を運転できなくとも将来にわたって安全・安心に移動できる交通サービスを確保する。

基本方針2 小中高校生が自分で学校や習い事に通うことのできる交通サービスの構築

小中高校生が自分で通学できる交通サービスを確保する。さらに、小中学生の習い事や高校生の部活、学習塾等へも不自由なく通うことができる交通環境の構築を検討する。

基本方針3 観光客が来訪しやすく、巡りやすい交通サービスの構築

山都町へ公共交通で来訪し、町内を回遊できる、観光客が利用しやすい交通サービスを確保する。

基本方針4 持続可能な町内公共交通体系の運営スキームの構築

資金面、人材面などの運営上の課題に対して、持続的に持続可能な運営スキームを追求する。

基本方針5 町民の公共交通を支える意識の醸成

公共交通の維持確保に向けて、町民の公共交通に対する関心・利用意識を醸成する。

施策1 町内の公共交通サービスの確保・改善

事業1-4) まちなか回遊サービスの導入

道の駅通潤橋、通潤橋、浜町商店街、運動公園など市街地内での距離が短い移動を支える、新たな交通手段を導入します。

■グリーンスローモビリティ
時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービス



■シェアリング
自転車や自動車、三輪車、車椅子などのレンタルサービス



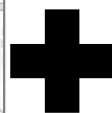
施策	事業	実施主体	スケジュール(年度)				
			R6	R7	R8	R9	R10
【施策1】 町内の公共交通サービスの確保・改善	事業1-4) まちなか回遊サービスの導入	山都町	検討	→	試験運行		
					→	本格運行	
					→	検証	→

1. まちなか回遊サービスの位置づけ

2) 浜町エリア（まちなか）の公共交通の現状

- ▶ 高速バスの「ごかせ号」、路線バスの「山荘線」と「辺場線」が町外から乗り入れている。
- ▶ 町内の移動手段としては、コミュニティバス「浜町馬見原線」と「乗合タクシー」、「一般タクシー」が運行している。
- ▶ ただし、路線バスやコミバスの運行便数は少なく、「辺場線」と「浜町馬見原線」は平日のみの運行、「乗合タクシー」も平日のみの運行である。

- ▶ また、観光客目線でみると、路線バス「山荘線」であれば『通潤橋』まで行けるものの、運行便数は少ない。
- ▶ また、高速バスとの交通結節点である『道の駅通潤橋』と『通潤橋』を結ぶアクセスや、『ふれあいバスセンター』周辺の浜町エリア（まちなか）を周遊するための公共交通は充足していない状況にある。



のりあい
乗合タクシー

運行概要
令和7年4月時点

乗合タクシーとは、山都町を旧町村ごとに3つの区域に分け、旧町村の区域内であれば、どこでも乗り降りができるサービスです。

運賃

1人1回 **500円** <定額制>
障がい者：半額（介助者は、1名まで半額）
 未就学児：無料

支払い方法は
 現金 or
 タクシーチケット

時刻表

運行日 月曜日～金曜日
平日のみの運行です。
 12/29～1/3は休日です。

行き	各集落発	地区中心着	予約受付
行き1便	9:00～9:55	10:00頃	1週間前～前日16時
行き2便	13:30～14:25	14:30頃	1週間前～当日1時前
帰り	地区中心発	各集落着	予約受付
帰り1便	12:30	12:35～13:30頃	1週間前～当日1時前
帰り2便	16:00	16:05～17:00頃	1週間前～当日1時前

山都町のタクシー



1. まちなか回遊サービスの位置づけ

3) 浜町エリア（まちなか）の距離感

- 浜町エリア（まちなか）は、半径500m圏域に収まるくらいのエリアである。
- また、国宝指定された『通潤橋』までのアクセスを考えると、交通結節点である『道の駅通潤橋』からは移動距離で約1.4km、同じく『ふれあいバスセンター』からは約0.8kmである。
- 500m圏域エリアの移動は、歩いて移動できない距離ではないものの、**地域の高齢者にとって、また、地域の道路を知らない観光客にとっては、移動をためらう微妙な距離**とも言える。



	距離	徒歩移動	車移動 (時速10km/h)
道の駅通潤橋 ~ 通潤橋	1.4km	20分	8.4分
通潤橋 ~ ふれあいバスセンター	0.8km	11分	4.8分
ふれあいバスセンター ~ 道の駅通潤橋	1.4km	20分	8.4分

1. まちなか回遊サービスの位置づけ

4) まちなか回遊サービスの位置づけ

- 地域の高齢者の移動手段としては、「乗合タクシー」でドアtoドアの交通サービスを提供しているため、今回検討する「まちなか回遊サービス」は、町外から来た観光客が町内を回遊するための交通サービスであると位置づける。

基本方針1 高齢者等が自動車でなくても外出できる交通サービスの構築

高齢者等が自動車を運転できなくても将来にわたって安全・安心に移動できる交通サービスを確保する。

基本方針2 小中高校生が自分で学校や習い事に通うことのできる交通サービスの構築

小中高校生が自分で通学できる交通サービスを確保する。さらに、小中学生の習い事や高校生の部活、学習塾等へも不自由なく通うことができる交通環境の構築を検討する。

基本方針3 観光客が来訪しやすく、巡りやすい交通サービスの構築

山都町へ公共交通で来訪し、町内を回遊できる、観光客が利用しやすい交通サービスを確保する。

基本方針4 持続可能な町内公共交通体系の運営スキームの構築

資金面、人材面などの運営上の課題に対して、持続的に持続可能な運営スキームを追求する。

基本方針5 町民の公共交通を支える意識の醸成

公共交通の維持確保に向けて、町民の公共交通に対する関心・利用意識を醸成する。

地域の高齢者に対しては、すでに、「乗合タクシー」でドアtoドアの交通サービスを提供している。

町外から来た観光客が町内を回遊するための交通サービスは不足している。

主なターゲットは観光客に設定し、観光客が利用しやすい「まちなか回遊サービス」を検討



のりあい 乗合タクシー 運行概要

乗合タクシーとは、山都町を旧町村ごとに3つの区域に分け、旧町村の区域内であれば、どこでも乗り降りができるサービスです。

運賃 1人1回 500円 <定額制>

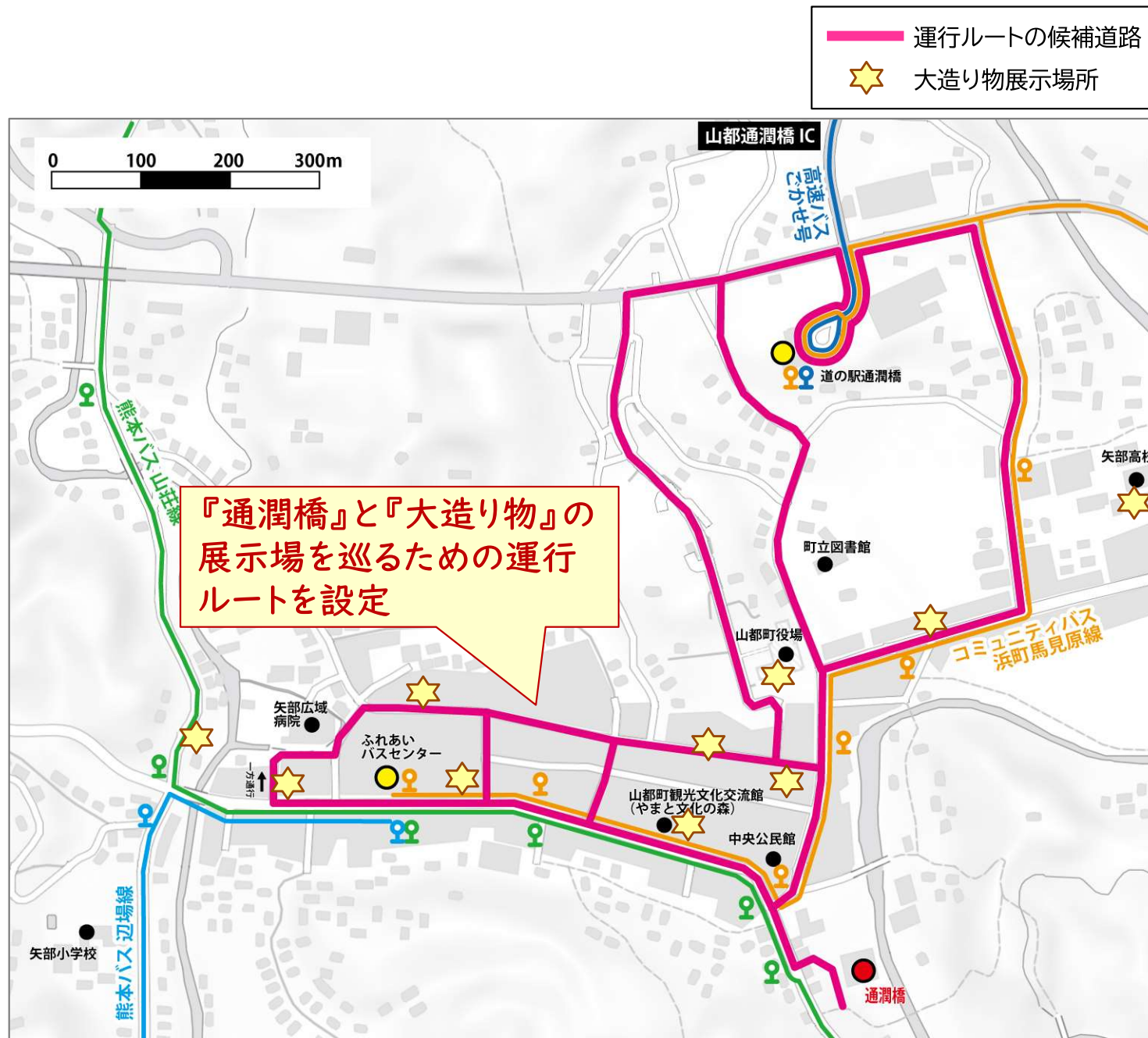
障がい者：半額（介助者は、1名まで半額）
未就学児：無料

支払い方法は
現金 or
タクシーチケット

時刻表 運行日 月曜日～金曜日 平日のみの運行です。12/29～1/3は運休です。

行き	各集落発	地区中心着	予約受付
行き1便	9:00～9:55	10:00頃	1週間前～前日16時
行き2便	13:30～14:25	14:30頃	1週間前～当日1時前
帰り	地区中心発	各集落着	予約受付
帰り1便	12:30	12:35～13:30頃	1週間前～当日1時前
帰り2便	16:00	16:05～17:00頃	1週間前～当日1時前

- 町内の道路は幅員が非常に狭く、小型車両でも走行がしづらい道路も多い。
- 浜町エリア(まちなか)の中を走行でき、かつ、観光客の移動目的(行きたいスポット)にかなうという視点で見えていくと、運行ルートの候補は絞られる。
- 山都町の観光スポットのメインは『道の駅通潤橋』と『通潤橋』になるが、町の各所に展示されている『大造り物』も山都町の伝統文化であり、これも町外の観光客に紹介したい観光資源であると言える。
- 以上を踏まえ、町外から来た観光客が、『通潤橋』と『大造り物』の展示場を巡るための運行ルートを設定する(右図のピンクルートが候補道路)。



2. まちなか回遊サービスのサービス内容

2) まちなか回遊サービスのしくみ（案）

まちなかの移動

モビリティでの 地点間移動



1



車両は、低速度で、排ガス
排出もないグリーンスロー
モビリティを検討中

降りたい場所を
運転手に伝える



呼び出しボタンが押され
た場所まで車両が移動

2



好きな場所で降りて、
自由にまちなかを回遊

呼び出しポイント

①～⑤の施設にタブレットを常設し、
簡単な操作で車両を呼び出すことができる

- ① 道の駅通潤橋
- ② 通潤橋ミエルテラス
- ③ ふれあいバスセンター
- ④ 山都町役場
- ⑤ やまと文化の森

